

## 岐阜女子大学教育実施状況の報告

○富士 富士でございます。よろしくお願いいたします。それでは平成26年度の「岐阜女子大学の教育実施状況」についてご報告をさせていただきます。



(平成26年度 外部評価委員会資料)

教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」

# 平成26年度 岐阜女子大学の教育実施状況

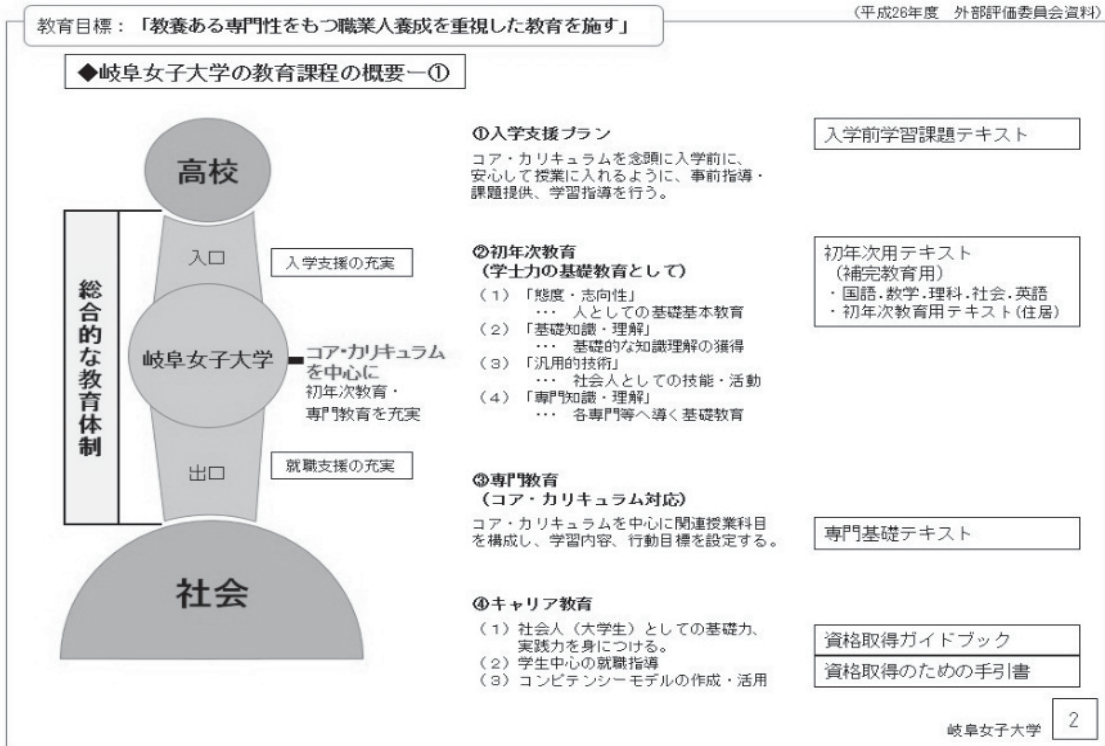
文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」  
「学生支援推進プログラム」採択（平成21年度～平成23年度）  
『社会ニーズに対応した学士力と高い就職率・定着率を目指す教育』  
をベースにした活動

- ・自己点検報告書提出（H23.3月）
- ・学習支援推進プログラム評価委員会 A評価（H24.10月）

岐阜女子大学 1

### <教育実施状況スライド1 教育実施状況概要説明>

こちらの活動は右下に書いてありますが、平成21年度文部科学省の「学生支援推進プログラム」に採択され、3年間活動したものをベースに活動を続けてまいりました。



<教育実施状況スライド2 教育課程の概要1>

活動の骨子ですが、絵でお示しします。当時、大学がいろいろと困難な局面に置かれておりました、本学もその影響を受けていたわけです。そこで、私たちはどのようなことを考えたのかといいますと、この大学の教育はいろいろ取り沙汰されたわけですが、総合的な教育体制をつくらないとやっていけないだろうと。これからの厳しい状況下で生き残りをやるのが難しいと思っておりました。結果として、どのようなことをおこなったかと申しますと、大学本体ではコア・カリキュラムを中心に展開することにいたしました。大きくは初年次教育と専門教育の充実です。こちらで力を注ぐことにしました。併せて、入学支援プランです。大学にとっては入り口の部分になりますが、高校から大学の授業にスムーズについていける。スムーズに導入が済むように、ということで、入学支援の充実を一つ掲げました。同じように社会へ巣立つ部分、大学の出口の部分になりますが、こちらにつきましては就職支援の充実ということで取り組んでまいりました。

3年間の活動を通じまして、この活動の結果が右側になります。「入学前学習課題テキスト」「初年次教育用テキスト」、それから「専門基礎教育用のテキスト」「資格取得ガイドブック」「資格取得のための手引書」、これらのテキスト類を先生方の協力で作りました。

(平成26年度 外部評価委員会資料)

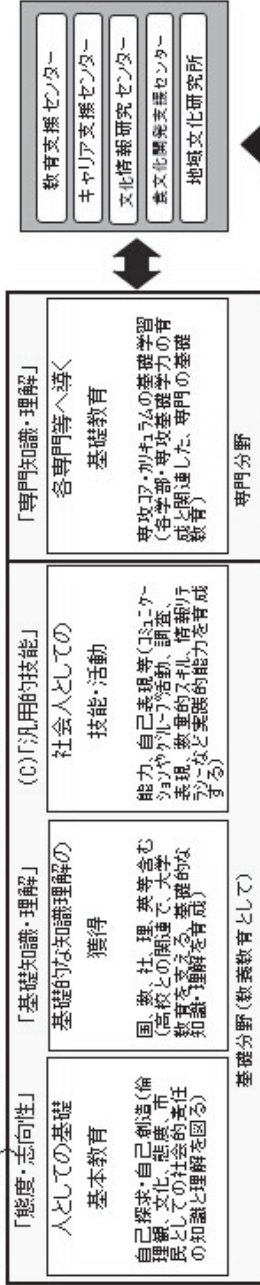
教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」

◆岐阜女子大学の教育課程の概要②

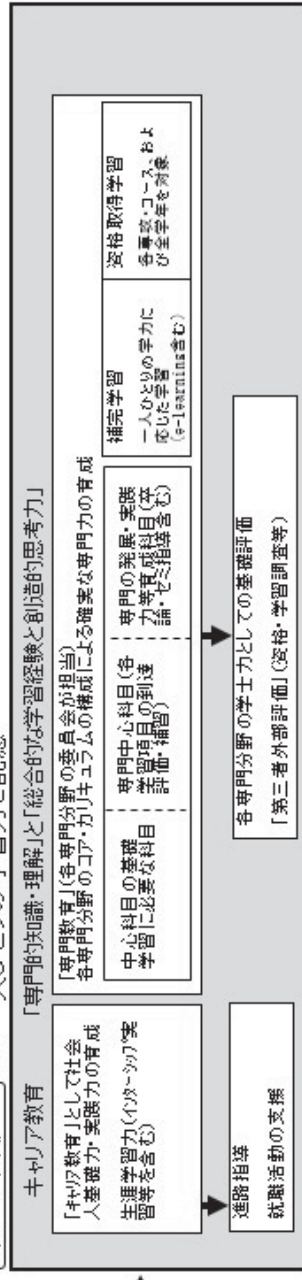
岐阜女子大学の教育課程の概要

一 確かな学士力と希望する資格を輩出し、高い就職率を目的とした育成  
 ～一人ひとりの学習歴を配慮した指導～

長期休暇中の学修時間の確保  
 平成26年度 基礎力のための年間履修計画表



確かな教養基礎と専門基礎の学習を推進するため、春・夏休み後には各専攻等で学習の達成テスト評価を実施。  
 (2～4年次) ～一人ひとりの学習力を配慮



確かな専門教育と資格取得のために春・夏休みには各専攻で達成テストと評価を実施。  
 ～一人ひとりの確かな力の育成を求めて～



- 教育支援センター
- キャリア支援センター
- 文化情報研究センター
- 食文化開発支援センター
- 地域文化研究所

<教育実施状況スライド3 教育課程の概要2>

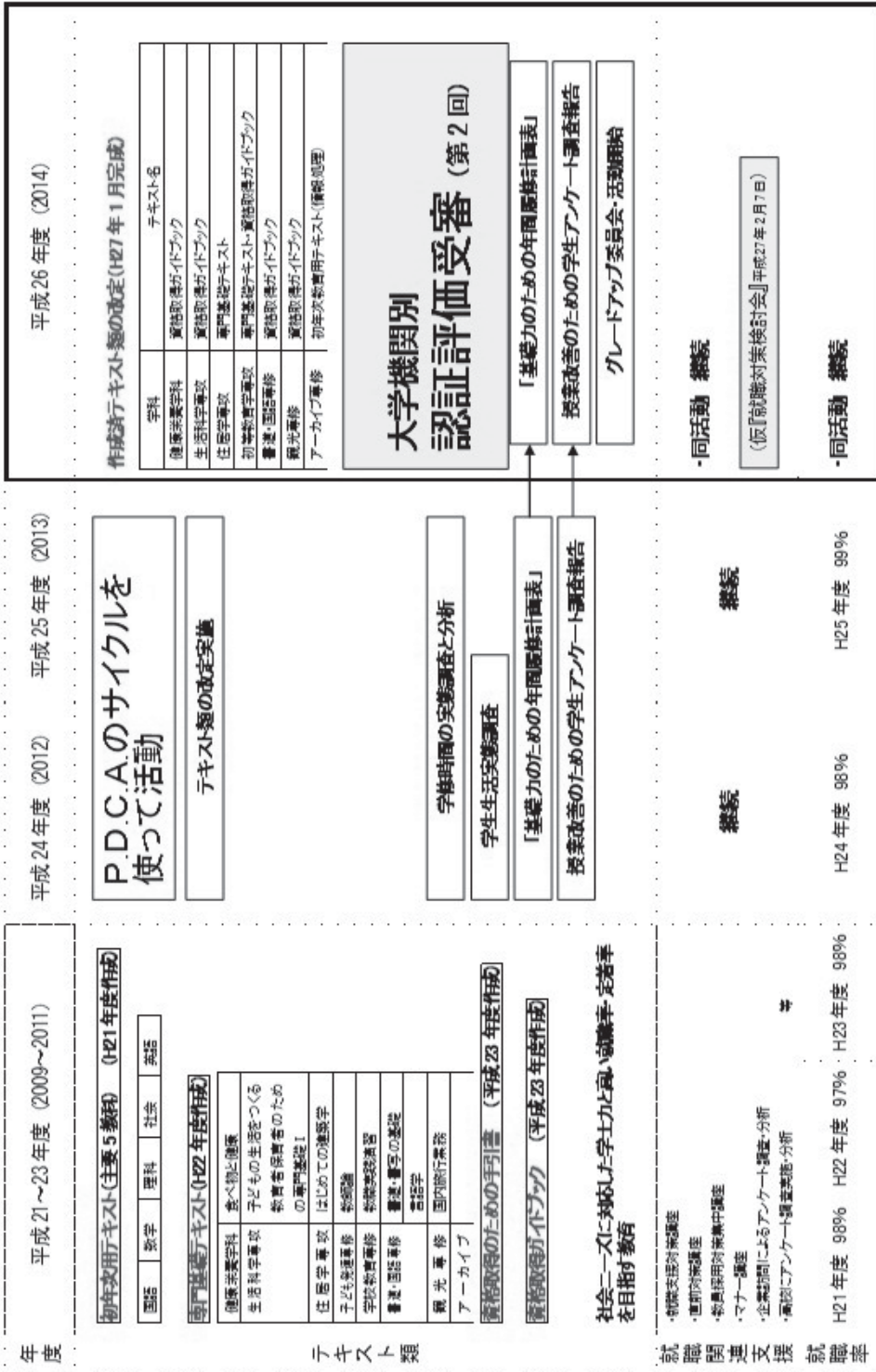
今、申しあげましたことを図で表すと、このようになります。まず入学前の支援学習から始まりまして、初年次教育、1年と2年生が主になります。それから、専門教育。専門の基礎の導入も済ませて、それから専門基礎に入っていくという構造を組みました。

おのおのの各段階では、このフィードバックを実施することによって、改善を加えながらの活動ということにいたしました。こちら平成26年度の「基礎力のための年間履修計画表」は今年度つくったものですが、平成24年度には、世の中では大学生の学修の時間が大変に不足しているのではないかという話が出てまいりました。私どもは長期休暇中の学修時間の確保ということで、年間履修計画表を平成24年度からつくっております。

(平成26年度 外部評価委員会資料)

教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」

◆活動の概要



<教育実施状況スライド4 活動の概要>



これが平成 21 年度から平成 26 年度までの活動の概略です。平成 26 年度は、こちら（右側）になります。平成 26 年度は、平成 21 年から平成 23 年度につくりました各種テキスト類の改定。これは平成 24 年度、平成 25 年度も済ませております。

それから、平成 24 年度、平成 25 年度の頃には「学修時間の实地調査」や「学生生活実態調査」、それから各種の学生アンケートなども継続的に続けております。

このような活動を続けてまいりました結果、一番下になりますが、就職率はかなり高い数字で経過をしております。今年度もおそらく、それに近い数字が出てくると思っております。

平成 26 年度の活動ですが、先ほど申し上げたテキスト類の改定は、例年通り行うということで、今年度の活動の大半は、真ん中にあります「大学機関別認証評価受審」ということで、これに大変な時間と労力を割いたということがございます。

あと、申し上げましたアンケート類、グレードアップ委員会については、予定どおり進めております。

それから、特筆すべきは、本日は宮里先生に来ていただいておりますが、来年度からは、特に教員採用にも力を入れたいということで、先生のご意見を聞き、われわれもどのように取り組むのかということ、今日の午前中に検討会を開いたところです。

(平成26年度 外部評価委員会資料)

教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」

◆長期休暇中の学修時間の確保

平成26年度 基礎力のための年間履修計画表【家政学部】

平成26年度 基礎力のための年間履修計画表【文化創造学部】

学年	履修科目	夏休み (H26年7月)		冬休み (H27年1月)		履修科目	履修科目	履修科目	履修科目
		授業日	レポート	授業日	レポート				
1	基礎力養成科目(1)	○	○	○	○	基礎力養成科目(2)	基礎力養成科目(3)	基礎力養成科目(4)	基礎力養成科目(5)
2	基礎力養成科目(6)	○	○	○	○	基礎力養成科目(7)	基礎力養成科目(8)	基礎力養成科目(9)	基礎力養成科目(10)
3	基礎力養成科目(11)	○	○	○	○	基礎力養成科目(12)	基礎力養成科目(13)	基礎力養成科目(14)	基礎力養成科目(15)

教材の構成について

- 補完学修としての位置づけ
- ①各専攻の基礎的な知識・理解の課題
- ②課題解決型の課題を提供
- 作成したテキスト類の活用
- ③課題図書を読み、考える力、発展的な力をつける。

1人ひとりの能力に応じた学修

<教育実施状況スライド5 長期休暇中の学修時間の確保のための計画>

これは平成24年度から続けております「基礎力のための年間履修計画表」です。

これは一般に言いますと、夏休みの課題、春休みの課題で宿題ということになっております。これは例年どおりです。ただ、こちらは長期休暇ですので、なかなか先生の目が届きません。ですから、夏休み前には保護者宛てに依頼文書、学修時間を確保する大事さを説明して協力を願う体制を取っております。

それでは、平成 26 年度、大変力を注ぎました認証評価についてお話をさせていただきます。

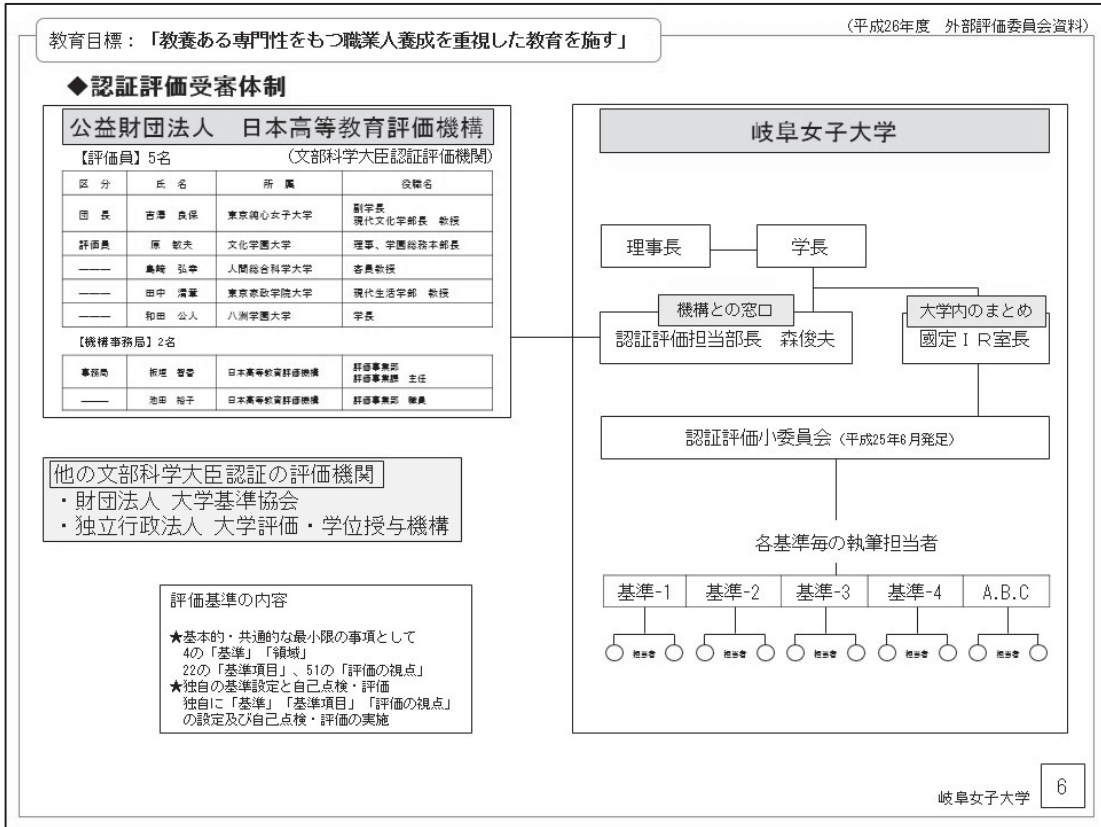
こちらに認証評価の体制の概略が書いてあります。右側の評価機関と大学ということになります。私たち岐阜女子大学が認証を受けるべく取り組んだ認証機関は、公益財団法人日本高等教育評価機構というところですよ。もちろん文部科学大臣が認証した機関ということになります。聞くところによりますと、全国の私立の大半は、この日本高等教育評価機構の会員になっております。

他には、文部科学大臣の認めている評価機関としては、財団法人大学基準協会、独立行政法人の大学評価・学位授与機構、大きくはこの三つがございます。私どもは前回に引き続き、日本高等教育評価機構の認証を受けたいということで取り組みました。

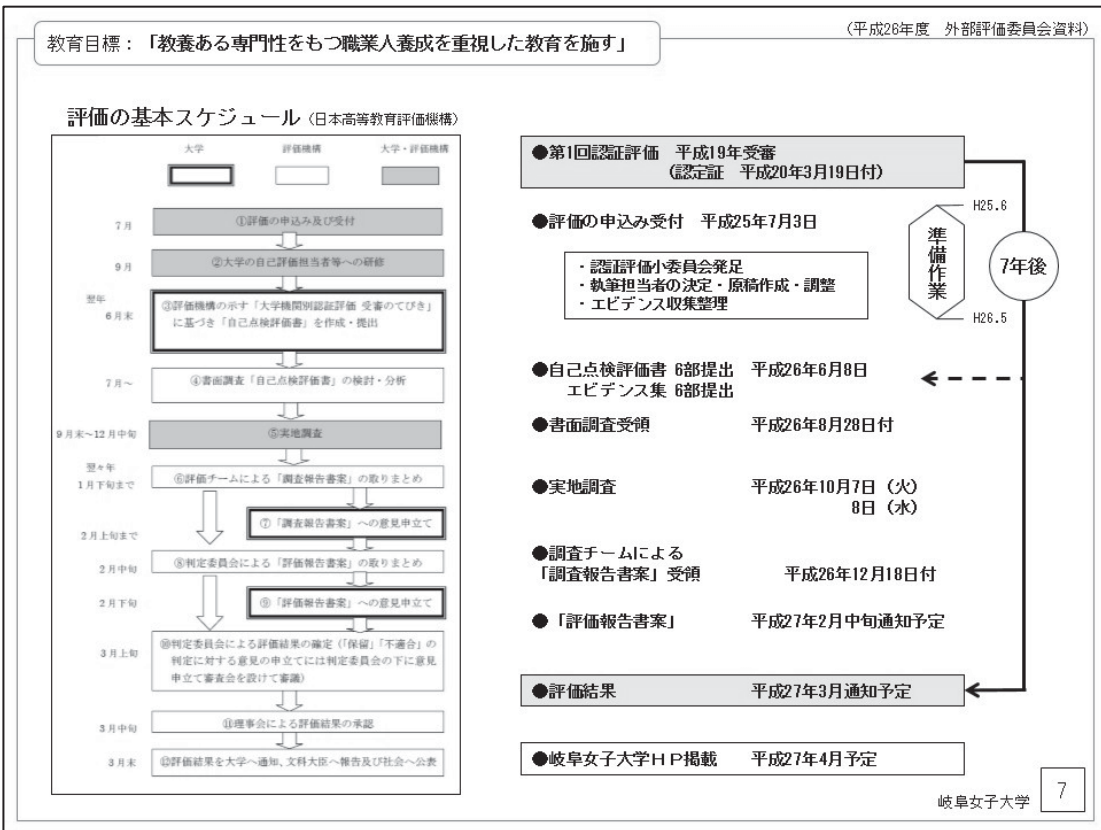
大学内の組織としては、このようになります。まず理事長・学長がトップにおられまして、そのあと認証機構との窓口、これは一人に限定するよということでしたので、認証評価の担当部長・森先生にお願いしております。学内のいろいろなまとめがありますが、これにつきましては國定 IR 室長が担当に決まりました。このお二人の下に「認証評価小委員会」を組織しまして、この下に各基準の担当者、執筆担当を決めました。

今回の審査・認証のための基準は、こちらにあります。前回と少し変わってまいりましたが、大きくは四つの基準です。ここに四つあります。それから、「A・B・C」のほうは、この下のほうになりますが、大学独自の取り組みについて自己評価をして提出しなさいということになっておりますので、そのような体制になっております。





<教育実施状況スライド6 認証評価受審体制>



<教育実施状況スライド7 認証評価スケジュール>

続きまして、これが基本的なスケジュールです。左側は認証評価機構の決めている流れです。それに対して、こちらが本大学の取り組んだスケジュールになります。

まず第1回目の認証評価は、平成19年度に受けております。認定証が平成20年3月19日に発行されておりますので、それからちょうど7年です。この7年というのはご存じのとおり制度上決められております。

認証評価につきましては、私どもは平成19年に受けましたが、実際には平成16年からスタートしています。いい時期を選んで申し込むことになっております。

平成25年7月に、認証評価の申し込みをしております。それから正式な提出書類である「自己点検評価書」6部を平成26年6月に提出しております。この間、1年ぐらいあったわけですが、認証評価小委員会を組織して、執筆担当者を決めました。それから、各種それに合わせた基準に適合する、しない、大変な作業になりますが、原稿の作成、それを一度書き上げたものを調整するという作業。さらに、こちらで書きました原稿と、それを証明するエビデンスの資料が大変な量になるわけですが、こちらの収集に約1年を費やしたということになります。晴れて平成26年6月に「自己点検評価書」を6部、「エビデンス集」6部を提出いたしました。

そして、平成26年8月末に書面調査がおこなわれました。この書面調査には27項目の質問書が出てまいりました。本学としては対応できることばかりでしたので、すぐに返答したということです。

それから、実地調査です。これが一番大変でした。平成26年10月7日と8日、火曜と水曜2日間です。

こちらの日本高等教育評価機構評価委員の5名の先生が、私どもの大学の認証の担当評価員です。そして、事務局お二人ということで、この5名の方の評価を受けたわけです（スライド6）。

この2日間、先生方がいらっしやいまして、いろいろ実地の調査をされました。これが一番の山場でございました。

その後、調査チームによる「調査報告書案」が平成26年12月に出てまいりました。「評価報告書案」が2月中旬通知予定になっておりますが、先日2月5日に届いております。

(平成26年度 外部評価委員会資料)

教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」

◆調査報告書案(平成26年12月18日付)

基準	基準項目	優れた点	改善を要する点	参考意見
1	1-1 使命・目的及び教育目的の明確性	特になし。	特になし。	特になし。
	1-2 使命・目的及び教育目的の適切性	特になし。	特になし。	特になし。
	1-3 使命・目的及び教育目的の達成性	特になし。	特になし。	特になし。
2	2-1 学生の選入れ	特になし。	特になし。	○家政学部生活科学科については……努力が望まれる。
	2-2 教育課程及び教授方法	○春季・夏季における……取組みは高く評価できる。	特になし。	○年間履修登録単位数の上限は……引下げが望まれる。
	2-3 学修及び修業の支援	特になし。	特になし。	特になし。
	2-4 単位認定、卒業・修了認定等	特になし。	特になし。	特になし。
	2-5 キャリアガイダンス	特になし。	特になし。	・「インターンシップ」について……配慮が望まれる。
	2-6 教育目的の達成状況の把握とフィードバック	特になし。	特になし。	特になし。
	2-7 学生サービス	特になし。	特になし。	特になし。
	2-8 教員の配置・数・能力開発等	特になし。	特になし。	・教員の採用に関して、……採用することが望ましい。
	2-9 教育費の確保	○サテライトキャンパスの……点は高く評価できる。	特になし。	特になし。
3	3-1 経営の健全性と透明性	特になし。	特になし。	・利益相反について……整備されることが望ましい。
	3-2 理事会の機能	特になし。	特になし。	・理事会・評議員会の委任状では……配慮されたい。
	3-3 大学の意思決定の透明性及び説明責任の確保	特になし。	特になし。	特になし。
	3-4 コミュニケーションとガバナンス	特になし。	特になし。	・5月の理事会・評議員会における……ことが望まれる。
	3-5 教育執行体制の透明性	特になし。	特になし。	特になし。
	3-6 財源確保と収支	特になし。	特になし。	・寄附金を含めた外部資金の……することが望まれる。
	3-7 会計	特になし。	特になし。	・平成25（2013）年度の……編成することが望ましい。
4	4-1 自己点検・評価の適切性	特になし。	特になし。	・大学の自主的な……実施することを期待したい。
	4-2 自己点検・評価の透明性	特になし。	特になし。	特になし。
	4-3 自己点検・評価の適切性	特になし。	特になし。	特になし。

岐阜女子大学 8

＜教育実施状況スライド8 認証評価調査報告書案＞

これが調査報告書に書かれたものです。審査項目、基準四つに、22の項目です。これについて、色のついている部分が評価員の先生方の意見などが出ております。

このなかで、私たちが気に掛けておりましたのは、この真ん中の「改善を要する点」です。「特になし」がずっと続いておりましたが、改善を要する点がないということが一番の安心したところです。

内容としては、優れた点に2点を挙げていただいております。参考意見としては10項目ありますが、この○印の付いた参考意見が公表されるということです。

教育目標：「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」		(平成28年度 外部評価委員会資料)
<b>優れている点</b>		
・基準2 学修と教授		
2-2	教育課程及び教授方法	○春季・夏季における長期休暇中の学修支援として、課題を設定した年間計画表を作成し、専門教育に関する幅広い知識や考え方を学修できる取組みは高く評価できる。
2-3	教育環境の整備	○サテライトキャンパスの「文化情報研究センター」の「デジタルミュージアム」は遠隔教育システムにより他の地域と同時開講が可能となり、公開講座等の種々の活動に活用している点は高く評価できる。
<b>参考意見</b>		
・基準2 学修と教授		
2-1	学生の受入れ	○家政学部生活科学科については、依然として収容定員未充足となっているため、平成27(2015)年度からの定員変更の実施も含め、確実な定員確保に向けて引き続き努力が望まれる。 <span style="float: right;">対応済</span>
2-2	教育課程及び教授方法	○年間履修登録単位数の上限は設定されているが、学修の質を担保するために年間履修登録単位数の引き下げが望まれる。 <span style="float: right;">対応済</span>
2-5	キャリアガイダンス	・「インターンシップ」について、その公平性と学修の質の確保のため、実施年度での単位認定への配慮が望まれる。
2-8	教員の配置・職能開発等	・教員の採用に関して、公募制を採用することが望ましい。
・基準3 経営・管理と財務		
3-1	経営の規律と誠実性	・利益相反について規定されていないので、早急に整備されることが望ましい。
3-2	理事会の機能	・理事会・評議員会の委任状では白紙委任は望ましくないので、議案が記載され、あらかじめその賛否について意思を示すことのできる書式などについて配慮されたい。
3-4	コミュニケーションとガバナンス	・6月の理事会・評議員会における「事業報告及び収支決算書の承認」の議事録は、事業の要点説明の記述ではなく、「事業報告書、収支決算書、監事監査報告書」が順番に説明された旨を明確に記述することが望まれる。
3-6	財務基盤と収支	・寄附金を含めた外部資金の獲得に一層努力することが望まれる。
3-7	会計	・平成25(2013)年度の一部の勘定科目において予算額と決算額に著しい乖離があったが、今後このような状況においては、補正予算を編成することが望ましい。
・基準4 自己点検・評価		
4-1	自己点検・評価の適切性	・大学の自主的な自己点検・評価は、教育及び研究面を中心にアンケート調査をもとに実施しているが、組織・運営面も含めた評価項目を設定し、定期的実施することを期待したい。
		岐阜女子大学 9

<教育実施状況スライド9 認証評価調査報告書案 詳細>

具体的に見ますと、特に優れている点というのは、大学が自信を持って世の中に発信してくださいということです。内容としては、年間履修計画表について大変な評価を受けたということです。それから、もう一つはサテライトキャンパスの「文化情報研究センター」の「デジタルミュージアム」です。これは遠隔教育システムにより他の地域と同時開講が可能となり、公開講座等の種々の活動に活用している点は高く評価できるということで、大変なお褒めをいただいたと思っております。

その次に参考意見ですが、参考意見の上の二つが丸印でした。内容は、家政学部生活科学科において、依然として収容定員が充足していないということでした。これは既に対応しているのですが、平成27年度からの定員変更の実施も含め、確実な定員確保に向けて、引き続き努力が必要だということです。それから、もう一つは、年間履修登録単位数の上限ですが、これも対応済みです。学修の質を高めるために年間履修登録単位数の引き下げが望まれるということです。こちらにつきましても、即対応して、今年度4月からは新しい上限の数字で対応することになっております。

あとにつきましては、ここにあるのは「対応済み」と書いてありませんが、どの

項目についても、だいたい対応ができるということでございます。

先ほど、改善すべき事項がないということで、私どもが大変喜んだのは、どのようなことかと言いますと、このような全体の流れがありまして、改善点があるか、ないかによって大変大きく分かれてきます。

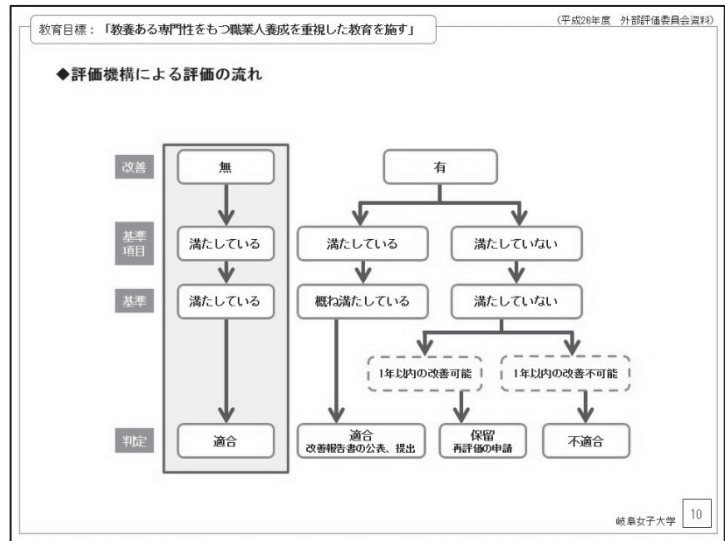
私どもは改善すべき事項がなかったということで、最終的には「適合」判定が3月半ばごろにはいただけるということで、99.9%安心したということです。

ここに改善する事項がありますと、そのフォローが大変なことになりますし、各種機関の結果を見ていまして、この改善を要する事項があったりしておりました。それから、「適合」「不適合」、ここにある「保留」というものも出てくるようです。

私どもとしては、今までいろいろな局面で先生方の指導を受けながら、真面目に取り組んできた結果、今のところ何とか「適合」ということで、岐阜女子大学もさらに真面目にやっていけば、いい結果がいただけると思っております。

時間の関係で、ちょっと端折って話をしましたが、平成26年度の活動の主な点です。今年度の主な点は、この認証評価ということでしたので、そちらについて簡単に報告をさせていただきました。また、あと各学科専攻の報告がありますので、併せてお聞きいただければ幸いです。以上で、私の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○司会 続きまして、各学科専攻より学修状況の報告をさせていただきます。「健康栄養学科の学修状況」の報告を、主任の岸上よりさせていただきます。



<教育実施状況スライド10 認証評価の流れ>